

この連続講座は世田谷区グリーフサポート事業により補助されています。

「グリーフサポートせたがや」の連続講座

# 「いま」を生きる グリーフとともに

～喪失体験は過去形、哀しみは現在進行形～



「グリーフ」という言葉をご存じですか？

大切な人やものを失って感じる、哀しみや傷つき、  
そしてさまざまな心身の反応のことをいいます。

11月の講座では、性暴力を受けること、原発被害にあうこと、  
精神障害を抱えながら社会で暮らすことなど、  
さまざまなグリーフを抱えて生きるということについて、  
3名の方からお話をうかがいます。  
これまでと今、今とこれからに必要なグリーフサポートについて考えます。

第3回

## さまざまな喪失

2017年11月11日（土） 午後2時～5時

場所 世田谷区役所第3庁舎3階「ブライツホール」（世田谷区世田谷4-22-33）  
東急世田谷線「世田谷」駅・「松陰神社前」駅から徒歩5分

MAP  
裏面

### 登壇者（予定）

- 山本潤さん SANE 性暴力被害者支援看護師、性暴力サバイバー自助グループ「つぶいちごの会」  
主宰。『13歳、「私」をなくした私 性暴力と生きることのリアル』（朝日新聞出版）著者。
- 鹿目久美さん 相模原の保養キャンププログラム「母ちゃんず」メンバー、福島からの自主避難者。  
神奈川県相模原市で、母子避難生活を送る。
- 新澤克憲さん 精神障害をもつ方々の波乱に満ちた毎日の生活を題材に「幻聴妄想かるた」を制作・  
販売している就労継続支援B型事業所「ハーモニー」施設長。

参加費 1000円（パソコン文字通訳・手話通訳あり、保育は要申込）\*介助者は無料

定員 先着100名（当日参加可・満席の場合は事前申込者優先）

申込先 電話、FAXまたはメールで一般社団法人グリーフサポートせたがやへ

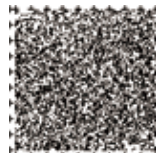
電話：03-6453-4925、FAX：03-6453-4926、メール：griefsetagaya@yahoo.co.jp

留守電の場合は、お名前とご連絡先を入れてください。折り返しご連絡いたします。

\*会場にはエレベーターがあり、会場内は車いすで移動できます。

\*原則として、世田谷区在住・在勤・在学の方が対象です。

主催：一般社団法人グリーフサポートせたがや 共催：世田谷区 所管：世田谷保健所健康推進課



「グリーフサポートせたがや」の連続講座

# 「いま」を生きる グリーフとともに

～喪失体験は過去形、哀しみは現在進行形～

## 第3回

(11月11日)の会場  
世田谷区役所第3庁舎



大切な人やものを失って、抱えきれない気持ち、誰にも話せないこと、  
お話いただける相談窓口があります。

### 電話相談

毎月第1日曜日 午後3時～5時

第3水曜日 午後6時～8時

電話 03-6453-4925

### 対面相談 (要予約)

初回：2時間・無料

電話、FAXまたはメールで、お名前とご連絡先をお知らせください。初回予約日の日程調整をさせていただきます。

電話：03-6453-4925 FAX：03-6453-4926

メール：griefsetagaya@yahoo.co.jp

留守番電話にお名前とご連絡先を入れてください。  
折り返しご連絡いたします。

### 一般社団法人

### グリーフサポートせたがや (グリサポせたがや) って？

大切な人を亡くした子どもや大人が集い、遊びやおしゃべりを通じて、ゆっくりと自分のペースで自分の気持ちと向き合うことのできる家「サポコハウス」を世田谷区太子堂で運営しています。世田谷区グリーフサポート事業においては、個別対面相談や電話相談などを実施しています。



おひとりでも、複数でもゆったり過ごせる場です。  
どなたでもお越しいただけます。

ひとりでゆったり、友達と待ち合わせておしゃべり、読書、お昼寝、キッチンで料理。和室、洋室、ダイニング、キッチンが分かれていて、プロジェクタとスクリーンもあるので映画鑑賞の自主企画や学習会、読書会も開催できます。スタッフがいるのでお気軽にお声をおかけください。



開催日時 隔月 (偶数月) 第3土曜日午後4時～7時 参加費 18歳まで無料 19歳から1人500円

場所 サポコハウス (世田谷区太子堂 5-24-20-201) 三軒茶屋駅から徒歩15分